



ADMISSIONS HANDBOOK

2025–26

(2024年10月～2025年9月まで有効)



A CIS-accredited IB World School

学校の方針

ミッション

ケイ・インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲の高い子どもたちに、安全で人を支える環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献をする、高いモラルを持つ学力的に優れた若者を育成する。

ビジョン

ケイ・インターナショナルスクール東京は、すべての学習者が学問において優秀さを示し、他を思いやる気持ちを持ち、平和でより良い世界を作ることにも貢献することを求めます。

信条

ケイ・インターナショナル東京は以下を信条とする:

1. 各人は、学校コミュニティーの一員として、学校のミッションとビジョンを尊重し、信条に従って献身的に関わることを求められる。
2. 質の高い教育とは、学問的優秀さと国際理解、ならびに人格型成と生涯学習を促進するものである。
3. 安全で人を支える環境とは、尊敬と秩序、寛容と思いやりを生むものである。
4. 高いモラルを持つ人とは、親切で思いやりがあり、正直かつ誠実であり、リスペクトと責任感を持ち、行儀が良く礼儀正しく、確立されたルールを守り、周囲の人々への気配りができ、他者の幸福に対する献身性を表す人を指す。
5. 教育は、生徒、保護者、学校の相互の協力によって成り立つものである。
6. 文化の多様性は、本校のコミュニティーを豊かにすると同時に世界への理解を深める。
7. 国際的な視野を持つには、多様で豊かな文化が世界中のすべての地域に存在していることを認識し、各文化のさまざまな信条や伝統に対して寛容を示すことが不可欠である。
8. ホスト国である日本の言語、慣習、伝統、文化的信条は学習経験を豊かにする重要な資源である。
9. 生徒の将来への準備のために、学校全体に繋がっている包括的国際カリキュラムが不可欠であり、学校はこれを定期的に審査する。
10. グローバル市民にはテクノロジーの知識とスキルの習得が必要である。しかしながら、実社会では外からの援助なしに自立して敏速に決断し行動する能力が不可欠であり、テクノロジーに依存しないコアとなる知識やスキルを習得することも重要である。
11. 学習の重要な道具として、言語力と数学力の向上を特に重視する。
12. 期待値を高く設定することは、しっかりとした学力を身に付けることをサポートし、将来の学問的成功のチャンスを高める。
13. 第一言語以外の言語で学習する生徒は、第一言語で学習する生徒に比べ学習に多くの時間と努力を要する。
14. 母国語の発達と維持は、アイデンティティーや自尊心及び認識能力を育て、究極的には学問的成功を収めるために重要である。
15. いじめやハラスメントのない安全で協働的な学習環境を維持するには、必要な場合に適切な行動をとり、学校全体でサポートすることが求められる。
16. 適切な身だしなみと態度の規範の順守が尊敬に満ちた、責任ある、安全な学校環境を促進する。
17. より多くの生徒が本校での教育機会を得られるよう、経済的な必要性に配慮した制度の確立と維持、および経済的かつ効率的な財政運営の維持が求められる。

教育目標

1. 全ての生徒が、国際社会で貢献し成功するために必要な、DP で求められる知識やスキルを高いレベルで身に付ける。
2. KIST 卒業後も質の高い教育を受けられるよう、希望する全ての生徒に一流大学進学への門戸を開く。
3. 大学進学に際し、経済的に支援が必要な生徒が、成績優秀者に送られる給付型奨学金を受けられるようにサポートする。
4. 生徒の家庭との協力的なパートナーシップを通して、生涯を通じて他者との関わりの中で社会に積極的に貢献する、高いモラルを備えた人を育成する。

K. International School Tokyo

1-5-15 Shirakawa, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0021

Tel: 03-3642-9993 (English), 03-3642-9992 (Japanese) | Fax: 03-3642-9994

E-mail: info@kist.ed.jp | Web: <http://www.kist.ed.jp>

目次

はじめに	1
Section 1: KIST について	
1.01: KIST とは？	1
1.02: カリキュラム	1
1.03: 学習重視	2
1.04: 卒業生	2
Section 2: 出願と出願資格	
2.01: 出願	3
2.02: 学年度と授業時間	3
2.03: 出願年齢及び出願制限	3
2.04: 出願条件及び期待値	4
2.05: その他の必要条件	5
2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学	6
2.07: 再入学申請	6
2.08: 短期入学	6
2.09: 進級及びプログラム進学	6
2.10: ウェイティングリスト	6
2.11: 日本国における義務教育について	7
2.12: KIST への準備(K1、K2 及び K3 出願者)	7
Section 3: 出願方法	
3.01: 選考の手順	8
3.02: 主な入学時期とその出願期間	9
3.03: その他の入学時期とその出願時期	9
3.04: 空席状況	10
3.05: 出願資格	10
3.06: 願書提出及び受験料支払い	11
3.07: 書類選考	12
3.08: 入学試験及びインタビュー	12
3.09: ホームスクーリングをしていた児童・生徒の出願条件	14
Section 4: 合否決定および入学時期延期	
4.01: 合否の判断	16
4.02: 合否の通知	16
4.03: 合否区分	16
4.04: 合格条件	17
4.05: 合格受理	17
4.06: 入学時期の延期	17
4.07: 入学後の再審査	18
4.08: 言語再試験の申し込み	18
4.09: 入学試験再受験	18
Section 5: 生徒サポート	
5.01: 英語サポート	19
5.02: スペシャルニーズのサポート	20
5.03: 慣らし期間(K1 の生徒のみ)	20
5.04: 放課後のエンリッチメントプログラム	20
Section 6: 保護者	
6.01: 保護者のサポート	21
6.02: 保護者の関わる学校行事など	21
Section 7: 学費	
7.01: 2025–26 授業料	23
7.02: 就学支援制度と奨学金制度	23
7.03: 支払方法	24
7.04: その他の費用	25
7.05: 授業料に含まれているその他のサービス	26
7.06: 支払い遅滞の事務手数料	27
7.07: 授業料の割引	27
7.08: 返金規定	27

はじめに

お子さんの入学先としてケイ・インターナショナルスクール東京へ興味をお持ちいただきありがとうございます。保護者の皆さんにとってお子さんの学校選びはとても大切なことです。どの学校もさまざまな特徴を持っていますので、良くお調べ頂き、ご家庭の価値観に合った、お子さんにとって最適な学校をお選びいただきたいと思います。

生徒に可能な限り最善の教育環境を提供するために、当校では入学に関して基本方針と手順を定めています。願書をご提出になる前に保護者の皆様には、当校について、またその目指すもの、および展望についてご理解頂くことが不可欠だと思っています。願書提出にあたり、このアドミッションハンドブックをご熟読下さい。

Section 1: KIST について

1.01: KIST とは?

ケイ・インターナショナルスクール東京(KIST)は、1997年に創立された、特定の宗教を基盤としない、普通教育を提供する3歳児から高校までの私立の男女共学のインターナショナルスクールです。KISTは世界的組織であるインターナショナルスクール評議会(CIS)の認可校です。また、東京都より学校法人の認可を取得しています。加えて、0歳児から2歳児を対象とした、認可外保育施設のK. International Preschool(KIPS)(現在は別敷地)を運営しています。

KISTは、伝統的な価値観、トレーニングにより確立された指導方法、バランスの取れた健康的なライフスタイルを通して、将来生徒が国際社会で貢献するために必要なスキルと知識、ボランティア精神を高いレベルで身に付けることを目的に、学問的向上を促進する骨組みの中で、安全で思いやりのある環境を作り上げることを目標とし努力しています。

KISTの生徒は、「生涯学び続ける」という高い向上心と願望を持っています。生徒達は高い志と、熱心なボランティア精神とを持ち、助けを必要としている人を助けたいという気持ちを示し、行動を起こすことで世界を変えられると信じています。生徒たちが成功をおさめられるよう保護者の皆さんにも生徒たちと学校に対し、十分なサポートを行っていただくようお願いしています。

現在、KISTには約43か国の国籍からなる660名ほどの生徒が在籍しています。また、多くの生徒が多重国籍を有しています。

1.02: カリキュラム

KISTの教育プログラムは、国際的で難度の高い枠組みに準拠しています。

- K1-G5: 国際バカロレア(IB)のプライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)
- G6-G8: KIST Lower Secondary プログラム(LSP)
- G9-G10: International General Certificate of Secondary Education(IGCSE)
- G11-G12: 国際バカロレア(IB)のディプロマ・プログラム(DP)

KIST最後の2年間で履修するDPは、16歳~19歳を対象にした大学の入学資格となるプログラムです。世界的に難度が高いプログラムであることで知られ、刻々と変化する国際社会で生徒が成功するために必要な分析力や批判的思考力、論理的思考力やコミュニケーション能力などのスキルと知識、ボランティア精神を養う機会を提供します。DPでは6つの必修科目でディスカッション形式の授業が行われ、レポートの提出が頻繁に要求されます。また、科目以外にも研究調査を基にしたExtended Essay(課題論文)、哲学的な思考を求めるTheory of Knowledge(知識の理論)、社会性を養うためのCreativity, Activity, Service(創造性・活動・奉仕)といった履修要件があり、非常に高い知的思考が求められます。この高度な教育内容のため、IBディプロマで高い結果を修めた生徒は、世界中の大学で給付型奨学金の対象になったり、入学後に単位を与えられることも珍しくありません。

KISTでは学校のミッションを達成すべく、エレメンタリースクールからセカンダリースクールを通して質の高い教育と、それを補うサポートを提供し、生徒が国際社会で成功するために必要なDPで求められるスキルや知識を高いレベルで習得することを目指します。高いレベルで求められるスキルや知識が身に付けば、必然的にDPで高い結果を得る事になるた

め、KIST では DP の結果は習得度を測るバロメーターであると考えています。

2024 年の 9 月現在で、世界には 162 か国 5,800 の IB 校が存在します。2024 年 5 月の IB DP 試験は、世界 3,323 校から 192,867 人の生徒が受験しました。

IB プログラムの詳細は IBO 公式サイト <http://www.ibo.org> をご覧下さい。

1.03: 学習重視

KIST では年間を通して生徒たちに多彩な課外活動や放課後のクラブ活動、創造的・芸術的な行事など、学習以外の機会も数多く提供しています。同時に学習に重点を置き、特に英語と数学の学力を重視しています。その理由は、KIST ではほぼすべての生徒が将来自身の目標や夢を実現し、社会に貢献するための通過点として大学やそれ以上の高等教育機関での学習や研究を続けることを望んでおり、DP での高得点の獲得は、生徒の経済状況や家庭環境にかかわらず、世界中の大学に進学できるチャンスとなるからです。

KIST の教育方針の理由や、その利点については学校ウェブサイト <https://www.kist.ed.jp> の“Founder’s vision”(創立者の理念)をご覧ください。

1.04: 卒業生

KIST では 2006 年に 1 回目の卒業生を送り出し、10 回目の卒業生を送り出した 2015 年から 10 年連続で日本の IB 校において DP 合格者平均点でトップの成績を納めています。2024 年は合格者平均点 **41.5 点**(45 点満点、世界平均 30.3 点)という非常に素晴らしい結果を出しています。2019 年には世界 12 位([IB-Schools – Global Top IB Schools](#))となり、以降世界 Top 10 に入り、世界のトップ IB 校の仲間入りを果たし、2023 年は**世界第 5 位**という、世界でも有数の IB 校としての地位をさらに確かなものとしたことを大変誇りに思っています(※2024 年度のランキングは今現在未発表)。以下は現在までの KIST 生の幅広い進学先の一部です。また、2023 年以降は実に 94%の生徒が第一志望の大学・学部に進学しています。

USA

ポストン大学 | ブラウン大学 | カリフォルニア工科大学 | カーネギーメロン大学 |
コーネル大学 | ダートマス大学 | ジョーンズ・ホプキンズ大学 | プリンストン大学 | スタンフォード大学 |
カリフォルニア大学バークレー校 / ロサンジェルス校 | シカゴ大学 | ペンシルバニア大学

カナダ

マギール大学 | ブリティッシュコロンビア大学(UBC) | トロント大学

UK

ケンブリッジ大学 | ユニバーシティカレッジロンドン(UCL) | インペリアルカレッジロンドン | キングスカレッジロンドン |
ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE) | セントジョージズ・ロンドン大学(医学部) | ブリストル大学 |
エジンバラ大学 | マンチェスター大学(医学部) | ノッティンガム大学(医学部)

日本

東京大学 | 京都大学 | 東京医科歯科大学(医学部) | 順天堂大学(医学部) | 岡山大学(医学部)
早稲田大学 | 慶応大学 | 国際基督教大学(ICU) | 上智大学 | 九州大学 | 名古屋大学

その他

メルボルン大学 | シドニー大学 | ニューサウスウェールズ大学 | KAIST | ソウル大学 | 延世大学(医学部)
香港大学 | 清華大学 | シンガポール国立大学 | ナンヤン(南洋)理工学部
ニューヨーク大学アブダビ校 | イェール NUS 大学

大学合格・入学実績の完全版はウェブサイト <https://www.kist.ed.jp> をご覧ください。

Section 2: 出願と出願資格

2.01: 出願

KISTは、学校の方針(ミッション、ビジョン、信条と教育目的)、学習プログラムに強く賛同し、「国際的な心を持った」ご家庭からの、学習意欲の高い、礼節を重んじる生徒を歓迎いたします。KISTでは、人種、国籍、民族、宗教、性別、社会的背景にかかわらず、あらゆるお子さんの入学の出願を受け付けています。ただし専門家がおりませんので、特別な学習ニーズをお持ちのお子さんの願書はお受けできません。身体的障害のあるお子さんの願書は、具体的なニーズと、学校環境がそのニーズに対応できるかどうかにより、ケースバイケースで検討いたします。

真に国際的な学校を維持するために、当校ではあらゆる文化的背景を持つ生徒を受け入れています。多様性を推進するためにクラスでは生徒の文化的背景のバランスをとるよう努めています。また同時に、学校内での指導言語としての英語のバランスも崩さないようにしています。また、各クラスでの男女比率のバランスにもできるだけ考慮しています。

高い学力と意欲、そしてモラルを求める学校として、KISTはすべての出願者を評価し、当校の厳しい学問的環境の中で学習する準備ができているかどうかを判断し、当校の提供するプログラムから最も恩恵を受ける可能性の高い出願者を特定することができるよう、包括的な出願と入学のプロセスを設けています。このプロセスの各段階で、私たちは出願者が学問的な成功につながる適切な学習習慣や個人的な特性を身に付けている、あるいは身に付けることができると期待されているという証拠を探します。

2.02: 学年度と授業時間

KISTの学年度は、8月中旬に始まり6月中旬に終わります。学習プログラムや成績表は2学期制(セメスター)をとっています。

セメスター1: 8月から12月 | セメスター2: 1月から6月

基本的な授業時間は以下の通りですが、変更になる場合があります。生徒によっては始業前・放課後に補習や課外活動などに参加します。

曜日/学年	K1-Grade 5	Grade 6-12
月曜日～金曜日	午前 8:40 – 午後 3:00	午前 8:45 – 午後 3:20

2.03: 出願年齢及び出願制限

KISTの新学年度は、8月中旬からとなります。7月31日を各学年の年齢区切りとしております。この日程までに全ての出願者は以下の表のとおり年齢であることが求められます。

学校区分	学年	年齢	誕生日
エレメンタリースクール	K1	3	2021年8月1日～2022年7月31日
	K2	4	2020年8月1日～2021年7月31日
	K3	5	2019年8月1日～2020年7月31日
	Grade 1	6	2018年8月1日～2019年7月31日
	Grade 2	7	2017年8月1日～2018年7月31日
	Grade 3	8	2016年8月1日～2017年7月31日
	Grade 4	9	2015年8月1日～2016年7月31日
	Grade 5	10	2014年8月1日～2015年7月31日
セカンダリースクール	Grade 6	11	2013年8月1日～2014年7月31日
	Grade 7	12	2012年8月1日～2013年7月31日
	Grade 8	13	2011年8月1日～2012年7月31日

	Grade 9		14		2010年8月1日 – 2011年7月31日
	Grade 10		15		2009年8月1日 – 2010年7月31日
	Grade11		16		2008年8月1日 – 2009年7月31日
	Grade12		17		2007年8月1日 – 2008年7月31日

K1については、いかなる理由があっても年齢に達していない方の出願は受付けていません。K2とK3については、特別な理由が認識されている場合、誕生日が規定期間を多少前後していても例外的にその学年への出願を受付けることはありますが、生徒の試験、前の学校での学習経験内容やその他の条件などを考慮し学年を決定します。なお、入学希望のお子さんは入学日までにトイレットトレーニングを完了している必要があります。

G1からG10までについては、前の学校での学年、成績、学校に通った年数、学力レベルによって最高1年まで生徒の適格年齢の上あるいは下のグレードへの出願を考慮することがあります。そのような場合はその理由を願書に書き、証拠となる文書を添付して下さい。

G11及びG12では、適格年齢を最大で2歳上回る年齢、または1歳下回る年齢の生徒の出願を検討対象といたします。

適格年齢でない入学希望者については保護者の方との話し合いを通して慎重に検討させていただきますが、学校がお子さんの学習の向上に有害であると判断したり、教員や同じクラスの他の生徒にとって適切でないと判断した場合は要望にお応えできません。

受験者が当校の年度終了間近(4月～6月)から入学を希望する場合、当校が定める年齢資格学年度のひとつ上の学年に出願できません(例: 3月に他の学校でG3を終了する生徒が4月からKISTに入学を希望する場合G4ではなくG3に願書を提出することになります)。

G10からG12への出願に関する特別制限

G10: 10年生への出願は5月31日以降の出願は原則受けません。合格者は新年度の準備のために2週間のKISTサマープログラムに出席することを求められます。G10学年度途中での出願は、他のIGCSE提供校からの転入、且つ、選択教科がKISTで提供しているものと一致する場合は受付可能です。

G11: 11年生の始めからの編入は原則として9月30日までのみ受け付けます。合格者はすでに都内(日本に入国して)にあり、速やかに入学できることが条件となります。この日付以降でのG11への出願は他のFull IB DP校からの転入、且つ履修教科がKISTで提供しているものと一致する場合のみ受け付けます。また、IB Certificateコースを履修している生徒や、Full DPからCertificateへの変更希望の生徒の出願はお受けしていません。

G12: G12への出願は原則として受付けておりません。G12への出願は、他のFull IB DP校からの編入、且つ履修教科がKISTで提供している科目と一致する場合にのみ受け付けます。IB Certificateコースを履修している生徒や、原則として教科やレベル(SL、HL)の変更は受付けていません。Full DPからCertificateへの変更希望の生徒の出願もお受けしていません。

2.04: 出願条件及び期待値

良好な学習環境を提供するために入学にあたっては様々な期待値、条件が設けられています。

学力期待値

KISTでは学習に重きを置いているため、K1を除き、入学希望者は学習意欲が高く、特にG2以上では学習教科、特に英語と算数/数学における高い学力があることを出願書類において証明する必要があります。

また、G11～G12で履修するディプロマプログラム(DP)には大学レベルの高度な学習内容が含まれるため、G11への出願者には高い学力が求められます。DPで高い成功を修めている本校への出願を検討されているご家族には、生徒がG11からのDP履修で成功するために必要な事前知識やスキルをしっかりと身につけられる時間を提供するためにも、早い段階(学年)での出願を強くお勧めいたします。

行動・態度に関する期待値

KIST では様々な社会的文化的背景を持った生徒たちが、偏見のない、安全な環境で共に学び、また個々の生徒の行動が他の生徒の学習にマイナスの影響を与えることのないよう配慮しています。生徒に求める行動は以下の行動規範に基づいています。

- a) **Respect** (尊敬・尊重): 生徒は他者への尊敬と、自身とは異なるものを許容・受容する判断を行うことで他者への配慮を示します。
- b) **Responsibility** (責任): 生徒は責任ある判断を行うことによって、自身、他者、コミュニティ、そして環境への義務を果たします。
- c) **Safety** (安全): 生徒は安全に配慮した判断を行うことによって、自身と周囲の人の身体的、精神的な安全の確保に貢献します。

出願されるお子さんには、行動・態度への優秀さ、学習への適切な態度、しっかりした管理能力、授業での集中力、他者と適切に関わる能力などを示せることを期待します。更にセカンダリーの高学年に出願される場合、なぜ KIST で学びたいのか、そして KIST での学習が将来の希望にどのようなかわりを持つのかについてしっかりとした考えのもとではっきりと説明できることが求められます。

要求される言語力期待値

KIST は様々な文化的背景を持つ生徒で構成されており、生徒はまた様々な違った言語を話します。生徒が一つの言語を媒体として一緒に学ぶため、英語を指導言語としています。8 月の学年度初めからの K1 への入学を希望される出願者を除き、入学にあたり生徒は英語において学齢相当のコミュニケーション及び学習スキルを有していることが求められます。セカンダリースクールに出願する生徒は英語で専門科目を学ぶため高いレベルの英語力が求められます。特にコース学習上の特質から、G8 及びそれ以上の学年では言語サポートの必要な生徒の入学はお断りしています。

学校と保護者とのコミュニケーション

KIST では、生徒のご家族と連絡を取る際、多くの場面で英語と日本語のバイリンガル・サービスを提供しています。どちらの言語でもコミュニケーションがとれない保護者の方には、適切なコミュニケーションを維持するために、必要な時に通訳をつけることはご家庭の責任となります。

2.05: その他の必要条件

居住地について

KIST には寄宿設備はありません。住まいやホストファミリーはご自身でご手配下さい。いかなる理由があっても、たとえ短期間であっても生徒の一人暮らしを認めていません。お子さんが両親と離れ、保護者代理あるいはホストファミリーと日本で暮らす場合、保護者代理あるいはホストファミリーも、学習にふさわしい、家庭でのサポート体制が確保されていることを確認するため、スクールでのアドミニスタッフとのインタビューを受けていただきます。

ビザについて

関係政府当局にビザを申請するのは個々のご家族の責任です。しかし、ご依頼により KIST では入学が確定した生徒のビザ申請に必要な在学(入学)証明書の発行は可能です(有料)。しかしながらそれ以上のお手伝いはできません。

両親と離れて暮らす生徒は入学試験に合格しても、適切なビザが取れていない場合は条件付きの合格となります。ビザのコピーをオフィスに提出して初めて正式な合格となります。一定期間内にビザが取得できない場合は合格取り消しとなることがあります。

制服について

KIST には厳しい服装規定があり、登下校時を含め、生徒は常にそれに従うことが求められます。生徒は在籍期間中、制服を着用し、保守的な身だしなみを維持することが求められます。髪を染めたり、化粧をしたり、アクセサリーをつけたりすることは禁じられています。男子生徒は髭を剃る必要があります。

2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学

既に KIST に在籍する兄弟姉妹がいる出願者も、通常の受験者と同様の選考が行われます。保護者の方のサポート並びに学校行事への参加の度合い、学費の支払い状況などが入学審査にあたり考慮され、合否結果に影響を及ぼすことがあります。

2.07: 再入学申請

過去に KIST に在学していた元生徒が再入学を希望する場合も選考手順は通常通りとなります。受験料や提出必要書類 (KIST から以前に出された成績表は除く)、試験、インタビューについても同様です。

なお、退校後 3 年以内 に再入学が認められた場合は、入学金と施設拡張費の減額規定が適用されます。

2.08: 短期入学

KIST でのカリキュラムは長期の学習を想定しているため、1 年未満の短期入学は受け付けません。

2.09: 進級及びプログラム進学

KIST では生徒が次学年へ進級、または次プログラムへ進学 (K3 から G1、G5 から G6、G8 から G9、G10 から G11) する際の基準を設けており、進級・進学にあたってはその基準を適切に満たしているか以下の点が審査されます。

- 社会的、情緒的発達
- 学業に対するモチベーションと学習態度
- 保護者のサポートと関与
- 出席状況
- 学業成績

KIST では学習期待値に到達していない生徒を対象に、始業前および放課後の補習、夏休み中のサマープログラムなど、複数のサポートを提供しています。進学に際し十分なレベルに到達していないと判断された場合、これらサポートクラス、サマープログラムへの参加、個人チューターを付ける、コース変更、留年、そして最悪の場合退学を求められる場合があります。進学に際しては保護者がお子さんの必須のサポートクラスやサマープログラムへの出席を支持し、従ってくださっているかも検討材料となります。

飛び級については、保護者がある正当性を証明することができ、該当生徒が学力、社会的発達、その他すべての期待値を満たしている特別な場合を除き、通常は許可されません。

2.10: ウェイティングリスト

入学選考に合格したものの、希望クラスに空きがない場合、G10 までの生徒のみウェイティングリストの対象となります。リストに載った後、クラスに席を得る際の優先順位は出願順ではありません。各学年のバランスを保つために、国籍、性別、英語レベルなど様々な基準が用いられます。

ウェイティングリストは出願された学年度末まで有効です。次学年度の入学を希望される場合はウェイティング期間中に通常の出願プロセスに従い再度受験をしていただく必要があります。次学年度選考の結果お子さんが試験に合格されなかった場合、ウェイティングリストも取り消しとなります。もし次学年度審査で合格となられた場合で、現在有効なウェイティング期間中に空席が出て入学が可能となった場合、2 度目の受験料は返金されます。

2.11: 日本国における義務教育について

日本の教育法では、義務教育期間中(6歳以上15歳未満)の、次の各号に該当する児童は、日本政府が定める学校に就学することが義務付けられています。

- 日本国籍を有する児童(二重国籍の児童、両親が日本国籍でない児童を含む)
- 父母が日本国籍の児童(父母がどちらかのみが日本人の児童を含む)

義務教育期間を KIST を含むインターナショナルスクールにて就学させても、法律で規定された就学義務を履行したことはなりません。KIST への入学を検討される際、本件について市区町村の該当部門に問い合わせを行うなどの行為は各ご家庭の責任となります。

2.12: KIST への準備(K1、K2 及び K3 出願者)

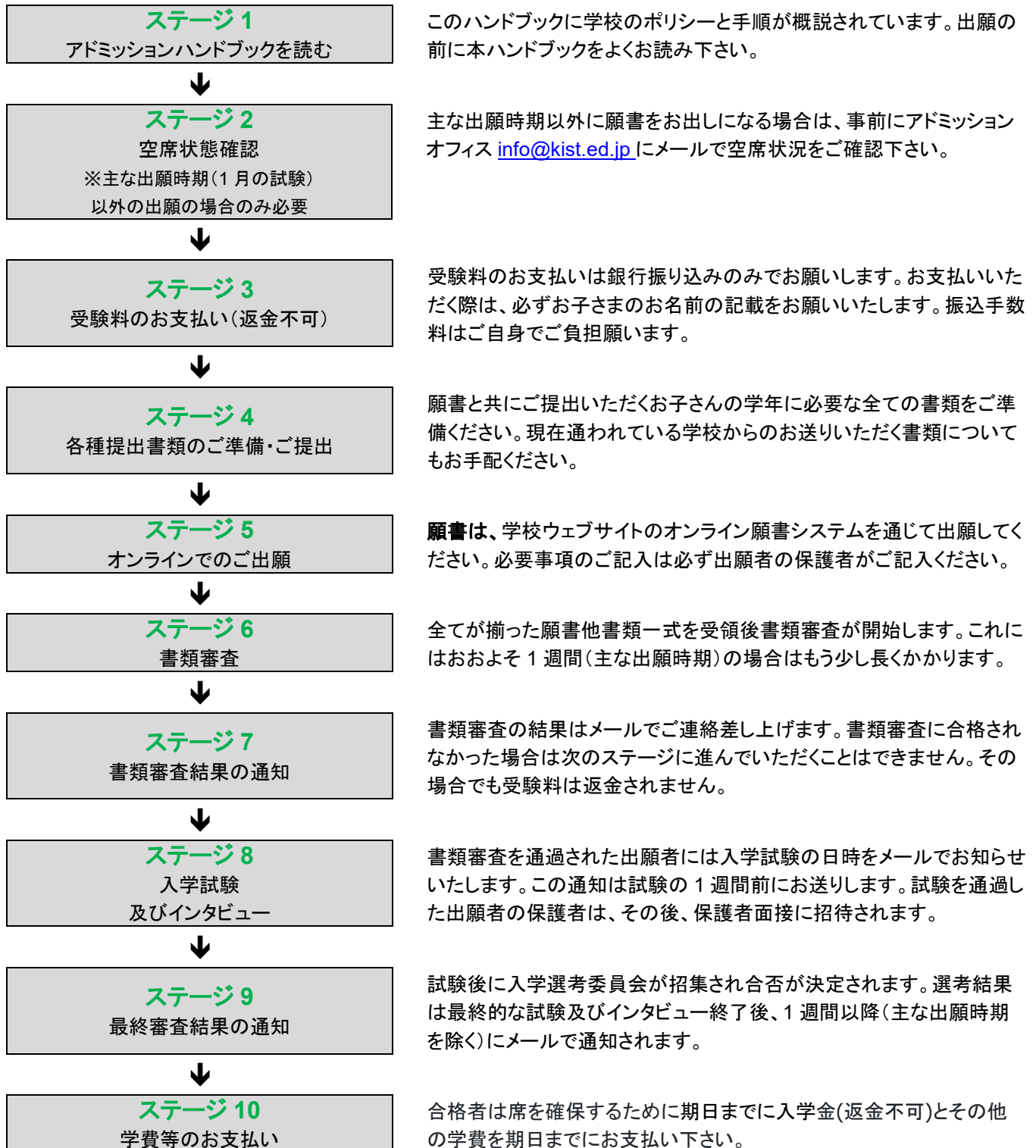
幼稚園(K1、K2、K3)の入学願書が多数寄せられているため、当校では行動観察の際に最低限必要な準備態勢・状況について、以下のガイドラインを作成しました。入学願書を提出される前に、ご家庭におかれましては、これらの点をよくご確認いただき、「私の子供は KIST に入学する準備が整っているか?」をご検討いただきたく思います。

学年	学習に関する準備度および性格的・社会的・情緒的準備(K1)	
K1	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動中、少なくとも 10 分間は一緒にいられる/座っていられる お話に耳を傾け、指示に従い、グループ活動に参加することができる 自分のことを自分でしようとする 教師からの最小限の援助があれば、タスクをこなせる 仲間と一緒にいられることで自制心を示すことができる 感情を効果的にコントロールし、癩癩や怒りを抑えることができる グループ活動や遊びの時間に、仲間と交流し、協調性を示すことができる 	
	学習に関する準備度	性格的・社会的・情緒的準備(K2~K3)
K2	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動に少なくとも 10 分以上は参加できる 簡単な CVC(子音/短母音/子音)単語を読む(例: cat, pig) 英語での簡単な話し言葉の指示に従うことができる 英語での簡単な受け答えができる アルファベットのいくつかの文字を正しく書くことができる 顔を描くことができる 基本的な数を数えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 難なく親から離れる 遊びの中で、集中力を保つことができる 教室で、他の子供たちと適切に交流することができる 順番を守る 他の子と物を共有する 興味と熱意をもって、進んで活動に参加する チャレンジングな課題に粘り強く取り組むことができる 自分の行動を適切に管理する 大人が話しているときは、耳を傾ける 落ち着いて、抑制された態度を示す 年齢相応の粗大運動と微細運動ができる 会話を始めることができる
K3	<ul style="list-style-type: none"> 英語で話す 単語や簡単な文を読むことができる 話し言葉の指示に従うことができる 単語や簡単な文を書く 説明的な単語やアクション・ワードを使って、絵に文字を書くことができる 単語と単語の間にスペースを入れて、キャプション/フレーズ/文を書くことができる 	

Section 3: 出願方法

3.01: 選考の手順

以下に示すとおり、選考手順の一部として出願は様々な段階を経て進みます。



願書は入学希望の学年度の最終日まで有効です。学年度の最終日までステージ8まで進めなかった場合(空席がないため選考試験を行えない場合)、願書は自動的に無効となります。

3.02: 主な入学時期とその出願期間

主な入学時期は、新学年度がスタートする8月からです。1月～4月も空席があれば可能です。次の表は主な入学選考時期についてのスケジュールです。
次学年度の10月以降の入学願書受付は新学年度開始後となります。

2025年1月、2月、3月(2024-25学年度)からの入学希望者

入学願書受付開始	●2024年10月19日(土)
出願締め切り	●2024年11月15日(金)※ ※願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後5時までに弊社に届いている必要があります
入学選考試験	●2024年11月28日(木)
選考結果通知日(メールにて)	●2024年12月5日(木)※ ※海外から受験された(リモート受験)方の結果通知には、通常の受験者よりも時間がかかる場合があります。
学費納入締切日	●2024年12月12日(木)

2025年4月、5月(2024-25学年度)からの入学希望者、または 2025年8月*(2025-26学年度)からの入学希望者(*KISTの新学年度は8月からです)

入学願書受付開始	●2024年10月19日(土)
出願締め切り	●2025年1月10日(金)※ ※願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後5時までに弊社に届いている必要があります
入学選考試験	●K1、K2、K3: 2025年2月3日(月) ●Grade 1~12: 2025年1月9日(木)、16日(木)、23日(木)、30日(木) 2025年2月4日(火)、5日(水)、6日(木)、13日(木)
選考結果通知日(メールにて)	●2025年2月26日(水) ※この日のうちに随時結果の通知を行いますが、受験者数が多い場合結果通知までお時間を要します。必ず通知されますので、お問い合わせはお控えいただくようお願いいたします。 ※海外から受験された(リモート受験)方の結果通知には、通常の受験者よりも時間がかかる場合があります。
学費納入締切日	●2025年3月7日(金)
追加募集	●2025年2月27日(木)より空席がある場合受け付けます。

注意:

- 12月の試験(1月・2月または3月入学)と1月の試験(4月・5月、または8月入学)の両方を受験することはできません。

3.03: その他の入学時期とその出願期間

上述の主な入学時期以外でも、年間を通してローリング方式で願書の受付をしております。その場合願書提出から最終決定までおおよそ3週間かかります。書類選考を通った方のみ入学試験に進んでいただけます。入学試験は通常毎週木曜日の午前中に実施されます(祭日ならびに学校の行事がある場合を除きます)。書類選考を通った受験者には最短の試験日をご案内しますが、願書提出のタイミングと受験者の数により受験日までの期間は異なります。試験スケジュールの詳細はメールで試験の1週間前位に送られます。

3.04: 空席状況

主な入学時期以外に出願される場合は、願書を提出される前に info@kist.ed.jp にメールで空席状況をご確認下さい。学校へお問い合わせの際、以下の情報をお知らせください。

- お子さんの生年月日
- ご両親の国籍(出生時の)
- お子さんの現在の学年(就学されている場合のみ)
- 入学を希望される学年
- お子さんの英語レベル

生徒の男女比率、文化的背景、英語力のバランスを維持するために、クラスには空席があってもすぐにお子さんの席をご用意できないことがあります。このような場合、書類選考、入学試験及びインタビューに合格しても、お子さんは空席待ち(ウェイティング)のリストに入り席が空くのを待つことになります。

空席状況は在校生家族の移動などにもより、常時変わります。空席状況を確認後、願書が弊社に届いた時点で状況が変わっている場合もあります。事前のお問い合わせの際に空席があっても、実際の出願者数が空席数を超えてしまう場合があり、出願者全員が合格できないことがあります。

3.05: 出願資格

オンライン願書他、提出が必要なすべての書類、証明書、受験料は入学希望者の責任でご用意下さい。

出願関連書類

全ての出願者は、以下を学校ウェブサイト上のオンラインシステムから提出してください：

- **氏名及び生年月日を証明できるもの**
可能であれば、お子さんのパスポートの写真ページ(のコピー)をご提出ください。お子さんがパスポートをお持ちでない場合、出生証明書、保険の証書、住民票でも受付可能です。必ずお子さんの正式な氏名と生年月日をご提出ください。
- **直近に撮影された出願者(お子さん)のパスポートサイズの顔写真**
写真は以下の条件を満たす必要があります。
 - 正面から撮影されたお子さんの顔のみのもの。全身写真は受け付けません
 - 背景は単色であること
 - 写真に追加加工などされていないこと
 離れたところから撮られたもの、全身写真、出願者が正面を向いていない物などは受け付けられません。
- **直近に撮影された家族写真**
出願者のご家族が映っている、直近に撮られた写真：写真館などで取られた正式な家族写真、スナップ写真どちらでも受け付けます。
- **受験料(返金不可)30,000 円の振り込みを証明するもの**

その他学年によって必要な証明書類:

- **成績証明書**
 - **G3 以上の入学希望者:** 直近のものを含め過去 3 年分の学校の正式な成績表を提出してください。学校印、またはその他、学校の正式なものであることを証明できる正式なコピーでなければなりません。入学希望者の学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに郵送、または PDF でのメール送信、学校印の入った封筒に厳封されたものを出願者が郵送でご提出下さい。先生からのコメントのある詳細な成績表が望まれます。成績表は英語のものをご提出ください。英語以外の場合、翻訳を提供してください。翻訳はご家庭でご手配ください。
 - **G2 以下の入学希望者:** 入手できる全ての成績表のコピーまたはスキャンコピー。学校から発行される正式なコピーでなくても構いません。これらもオンライン出願システムからご提出ください。
- **学校調査票(G2 以上)**
KIST ウェブサイトから入手可能。入学希望者の現在通っている学校に前もって記入を依頼して下さい。これは親展文書ですので現在通っている学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに学校の公式アカウントから郵送または PDF でメール送信を依頼してください。

- **パーソナルステートメント(G8 以上)**
KIST ウェブサイトから入手可能。必ず入学希望者自身が英語で手書きし、日付の記入と署名したものを、オンラインでご提出下さい。

追加書類(直接 KIST のアドミッションオフィスにお送りください):

- **共通試験の結果のコピー**(受けている場合)
- **ビザの証明書**(保護者と日本で同居していない日本国籍以外の生徒のみ)

必要文書・書類条件 [✓ = 必要 X = 不要 △ = 可能であれば]				
文書	K1-Grade 1	Grade 2	Grades 3-7	Grades 8-12
● 氏名及び出生を証明できる書類	✓	✓	✓	✓
● 直近のパスポートサイズの写真	✓	✓	✓	✓
● 直近の家族写真	✓	✓	✓	✓
● 受験料支払い証明	✓	✓	✓	✓
● 学校成績	△	△	✓	✓
● 学校調査票	X	✓	✓	✓
● パーソナルステートメント	X	X	X	✓

願書提出の一般条件

- 提出物は結果の如何を問わず返却致しません。
- 全ての提出文書は英語のみの受付となります。入力間違い、あるいは不明瞭な連絡先による間違いは申請者の責任となります。願書は入学希望者の保護者が必ずご記入ください。出願する生徒、保護者以外の家族や関係者、代理人が出願フォームにアクセスすることは許可されません。
- お子さんが前に受けた教育について全ての情報をご用意ください。同時に何か特別な学習に関する問題がありましたら、その詳細もお知らせ下さい。願書提出時に判っていたことを明らかにしなかった場合、合格の見直し、あるいは取り消しもあります。
- 出願書類にはお子さんの正式な名前(パスポートや出生証明書に記載の名前)をご記入ください。また、オフィスとの口頭・文書によるコミュニケーションにも正式な名前をご使用ください。日常的に使用されている通称やニックネームはご使用にならないでください。更に、カタカナでお子さんの名前を記入される場合、お子さんの英語での正式名称を表すものとしてください。お子さんの正式名称が中国語で漢字記載できる場合も、日本語読みではなく、英語読みの表記をカタカナで記載してください。
- **英語を母語としない方への重要なお知らせ:**
オンライン願書は英語でのみご入力ください。自動翻訳ソフトウェア等を使用して、願書を他の言語に翻訳して使用した場合、フォームの一部の機能が動作しなくなる、あるいは表示が正しくされない可能性があります。

3.06: 願書提出および受験料のお支払い

願書及び必要書類は学校ウェブサイト(<https://www.kist.ed.jp>)からアクセスする、オンラインシステムからのみご提出いただけます。追加書類に関しては、入学希望者の現在、あるいは過去の在籍校から直接以下宛てにメールあるいは郵送にてお送り下さい。

- メール: info@kist.ed.jp
- 郵便: K. International School Tokyo
Admissions Office
1-5-15 Shirakawa
Koto-ku, Tokyo

受験料は銀行振込にて以下の口座にお支払い下さい。必ず入学希望者(お子さん)のお名前を明記してください。振込手数料は振込時に自身でご負担願います。

海外から銀行送金される場合は円建てで手数料引き去り後正額 3 万円をお振込下さい。送金銀行、受取銀行双方の取り扱い手数料は受験者でご負担ください。不足が生じないよう送金時に銀行にご確認下さい。受領金額が 3 万円に満たなかった場合は、差額をお支払いいただきます。

受験料お振込口座:

銀行名: みずほ銀行(銀行コード 0001)

支店名:	本所支店(支店コード 050)
住所:	〒130-0026 東京都墨田区両国 4-31-11
電話番号:	03-3631-2121 / +81-3-3631-2121
口座の種類:	普通預金
口座番号:	1937746
SWIFT コード:	MHCBJPJT
口座名義:	学校法人ケイ・インターナショナルスクール 略称: ガク)ケイ・インターナショナルスクール 英語名: K. International School

3.07: 書類選考

毎年たくさんの方に入学を希望して頂いておりますが、受け入れ可能人数に限られるため、残念ながら全ての方に入学頂くことは出来ません。当校に適合する生徒にご入学いただくため、願書提出者は全員が選考を受けます。

書類選考では、ご提出いただいた書類一式をもとに、以下の評価基準での判断を行います。

- 願書に記載された保護者の価値観が学校の哲学や目標に沿っているか
- K2 以上は出願者が英語の素養を有しているか(英語学習の有無、英語圏での生活経験など)
- G2 以上の出願者は、様々な教科の指導を完全に英語で実施している学校に在籍していた期間
- G2 以上の出願者は、学校成績表において、主要教科の成績が良好であったか
- 過去および現在の在籍校からの書類(成績表、推薦書等)がある場合、それらが出願者の前向きさ、積極性、学習意欲や良好な態度、思いやりや協調性を示すものであるか
- パーソナルステートメント(G8 以上)の内容
- 出願者の保護者が協力的であるという証拠

K1 及び K2 への希望者を除き、上記基準を満たさない出願者は書類選考を通過できない可能性があります。

受験料及びオンラインでの願書や必要書類を全てご提出いただくまで、書類選考は開始されません。選考は通常 1 週間程度ですが、主な出願時期(1 月の試験)への出願、もしくは仮入学申請(Section 5 参照)に関してはもう少し長い期間を要します。

選考結果はメールでのみお知らせいたします。すべての出願者が書類選考を通過するわけではありません。書類選考に通らなかった受験者はインタビューと入学試験の段階に進めません。また選考に通らなかった場合でも受験料はお返しいたしません。受験結果については、個々のご質問には一切お答え出来ませんのでご了承下さい。

3.08: 入学試験及びインタビュー

書類選考を通過した受験者は以下の通り、英語テスト(全受験者)、数学テスト(2 年生以上受験者)、面接(4 年生以上受験者)を含む入学試験に参加することになります。学年相応の学力があると判断された受験者については、その後に保護者面接が行われます。

英語試験

英語試験では、受験する学年のカリキュラムを学習するのに必要な英語力の有無をチェックします。試験内容は以下の通り該当学年により異なり、所要時間も学年により 1 時間から数時間となります。

- K1 と K2
試験は教室内での行動観察の形で行われます。お子さんは、お絵描きをする、物の名前を言う、塗り絵をする、数を数えるなど、いろいろなアクティビティに参加します。試験官は様々な活動に参加する中でのお子さんの英語力、または英語(又はその他の言語)への反応、および他の子どもたちとの関わり方を観察します。
- K3 およびそれ以上の学年
試験は、多くのインターナショナルスクールで行われている 4 技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)の能力を評価する方法をとっています。K3 ではリスニングとスピーキングの 2 つに分かれています。しかし、年度後半からの中途入学の場合はリーディングとライティングのスキルもテストされることがあります。G1 以上の受験者の英

語テストは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能について行われます。学年に合わせ、センテンス、パラグラフ、またはもっと長い文章の音読、絵を見てそのことについてお話を作って話す、質問に答える、単語、センテンス、またはもっと長い文章(例えば話の続きを書く、答えを書く、録音されたものを聞いてそれについての質問に答えるなど)を課されることもあります。

試験中、試験官は受験者の集中度や一般的な態度、行動なども観察します。

数学試験

G2以上の受験者は算数/数学の試験も行います。G2~G4は45分、G5~G9は1時間、G10以上は2時間です。G2~G10については、下記の表に示されているような、英国のナショナルカリキュラムと同等レベルのテストを実施しています。

2024-25 学年度に対し受験される場合:

テスト時期	出願希望学年	使用試験
2024年 8月~12月	2	Key Stage 1 Year 2
	3	Key Stage 2 Year 3
	4	Key Stage 2 Year 4
	5	Key Stage 2 Year 5
	6	Key Stage 2 Year 6
	7	Key Stage 3 Year 7
	8	Key Stage 3 Year 8
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
2025年 1月~6月	11	IB DP Mathematics (受験者が受験を希望するコースによって、テストの内容が異なります)
	2	Key Stage 2 Year 3
	3	Key Stage 2 Year 4
	4	Key Stage 2 Year 5
	5	Key Stage 2 Year 6
	6	Key Stage 3 Year 7
	7	Key Stage 3 Year 8
	8	Edexcel IGCSE Mathematics A Foundation Tier
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	11	IB DP Mathematics

2025-26 学年度に対し受験される場合:

テスト時期	出願希望学年	使用試験
2025年 1月~6月	2	Key Stage 1 Year 2
	3	Key Stage 2 Year 3
	4	Key Stage 2 Year 4
	5	Key Stage 2 Year 5
	6	Key Stage 2 Year 6
	7	Key Stage 3 Year 7
	8	Key Stage 3 Year 8
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Foundation Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	11	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier

試験問題に類似した Key Stage 試験の過去問題はこちらのサイト <http://satspapers.org/> よりご確認くださいませ。また、IGCSE の数学 A の過去問題は下記のサイトよりご確認くださいませ。

<https://qualifications.pearson.com/en/qualifications/edexcel-international-gcses.html>

受験者本人へのインタビュー

G4 以上（もしくは 4 月以降からの G3 に入学を希望される）受験者には、エリア校長が面接を行います。時間は 15 分から 20 分程度です。インタビューでは現在の学校について、趣味、関心のあること、学校に求めるものや将来の志望などについての質問をします。また、お子さんから KIST での学校生活などについて質問をしていただくことができます。インタビューではエリア校長がお子さんの英語力をはじめ、受け答えの姿勢や態度、学習意欲なども観察いたします。

教室での観察

K3 および G1 の受験者には正式な試験に加え、通常の教室で他の子どもとの交流状況の行動観察を行うこともあります。授業のスケジュールやその他の都合により教室での観察が実施されない場合もあります。

リモート受験

出願者の学力と行動特性を明確に把握するため、対面式試験が望ましいと考えておりますので、海外にお住まいのご家族も、可能な限り来日して試験を受けていただくことを強くお勧めします。来日が不可能な場合、直近の学業成績が高く、模範的な行動と意欲が証明されているセカンダリースクール以上（6 年生以上のみ）の志願者は、リモート受験を希望することができます。リモート受験が可能かどうかは、書類選考の過程で決定されます。リモート受験が許可された場合、応募者は Duolingo の英語テストプラットフォーム（有料）を通してオンライン英語テストを受けることになります。これができない場合は、KIST での対面式テストが必要となります。K1 から G5 までの出願者はリモート受験はできません。兄弟がセカンダリースクールをリモート受験する場合でも同様です。リモート受験を受けた出願者の結果発送まで、通常の出願者よりも時間を要します。

保護者インタビュー

保護者へのインタビューは、保護者の方の教育的信念や希望が、本校のミッション、ビジョン、信条、プログラムと合致しているかを確認するためのものです。インタビューは Zoom を使用した各ご家庭個別のオンラインで実施いたします。インタビューは 20 分から 30 分程度です。なお、インタビューはオンラインでなく、学校での対面式でのご案内をさせていただきます。試験において適切な学力が示されなかった出願者の場合保護者インタビューは実施されません。

保護者インタビューは英語または日本語で行われます。保護者の方は希望する言語を選択いただけます。両親ともに日本人の場合は、日本語でのインタビューを選択してください。英語または日本語のいずれにおいても意思疎通ができない保護者は、インタビューの際に通訳を手配する必要があり、事前にその旨を学校に通知する必要があります。通訳の役割は、面接官と保護者間の円滑な意思疎通を助けることです。通訳者は面接で話し合われた特定のポイントのみを直接通訳し、話し合いの中で言及されなかった点を付け加えたり、質問に対して個人的な考えやコメントを述べないでください。KIST/KIPS 在校生の保護者が、インタビューの際に通訳として入ることはできません。

保護者インタビューでのご回答をもとに、以下の基準に照らし合わせて審査が行われます。

- 国際的教育に関する国際的な考え方
- KIST のミッション、ビジョンと信条への共感、理解、興味
- 子どもの将来のための教育的見解とビジョンの明快さ
- 家庭での子どもをサポートする能力（精神面、学習面）
- 学校をサポートする意志

3.09: ホームスクーリングをしていた児童・生徒の出願条件

オンラインで特定のカリキュラムに従ったホームスクーリングを受けている出願者は、発行されている成績表、統一テスト、その他書類とともにプログラムやカリキュラムの詳細をご提出ください。お子さんが受けておられるオンラインコースや遠隔学習が教師によって提供されている場合、1 名の教師による推薦書類もご提出ください。推薦書は KIST の部外秘推薦書類であることが望ましいですが、担当教師がこちらへの記載を望まない場合、出願者の能力や姿勢・言動、学習態度についてご説明いただいた書面でも結構です。

出願者が特定の外部機関が提供するホームスクーリングを受けておらず、そのため、成績表や推薦書等のご提出が難しい場合、可能な限りお子さんの学力を測れるオンライン試験の結果などをご提出いただくとともに、お子さんが各教科で学

習されたカリキュラムや内容の詳細をご提出ください。

ホームスクーリングを受けている出願者が書類選考に合格した場合、インタビュー実施前に先に学力試験(英語、算数・数学)を実施する場合があります。また、選考過程において入学が認められたものの、英語及び算数・数学以外の教科の能力が著しく劣っている場合、あるいは同年齢の生徒に比べ社会性や精神的発達著しく劣っていると判断された場合、次年度の進級・進学は、学校が懸念している状況が改善された場合のみという条件が課されます。

Section 4: 合否決定および入学時期延期

4.01: 合否の判断

試験及びインタビューの終了後、入試委員会が合否の判断を行います。合否の判断および学年決めは以下を考慮して行われます。

- 出願時に提出された書類
- 出願者の英語試験結果
- 算数・数学試験結果(G2 以上)
- 生徒インタビューの結果(G4 以上)
- 保護者インタビューの結果

更に、以下の要素も考慮されます。

- 空席状況
- 出願者の年齢が該当学年に相当であるか
- 文化的背景や性別、英語力のバランス
- 特に低年齢の児童・生徒に関しては身体的社会的成熟度

4.02: 合否の通知

主な出願時期に関しては、最終結果はお知らせした日時(Section 3.02 参照)までにメールでお知らせします。それ以外の出願時期に関しては、最終的な試験やインタビューが終了 1 週間以降を目途にメールで通知することを予定しています。出願者の数や、さらなる検討が必要な場合などは結果の発表までに 1 週間以上かかることがあります。結果は受験者の保護者にのみ通知されます。

通知結果は最終的な決定であり、交渉の余地はありません。

試験結果についての個人的なお問い合わせにはお答えしていません。
KIST はインタビューと入学試験についていかなる情報も提供しないというポリシーをもっています。

4.03: 合否区分

選考結果には次のような種類があります。

- **合格** – 選考の結果合格となり、クラスの席が確保されました。**Offer of Enrollment**(合格通知)と一緒に学費の請求書が送付されます。指定期日までにお支払いがない場合、入学は自動的にキャンセルになります。
- **合格(英語サポート条件付き)** – 選考の結果、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのうち一つ以上のスキル分野で言語サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。
- **合格(条件付き)** – 選考の結果、学習面または行動面において問題点が見受けられるため条件付きでの合格となります。一定期間において当校での学習状況を確認し、必要となる条件が満たされたうえで、在籍の継続が認められることとなります。一定期間において必要となる条件が満たされなかった場合、合格は取り消しとなる場合があります。
- **不合格** – 選考の結果、不合格となりました。基本的にこの結果は英語及び/または算数・数学のテスト結果が入学を希望される学年の期待値以下であるか、保護者インタビューでお伺いした価値観が学校のものとは合わない、あるいは出願者の態度や言動、学習意欲に懸念があった場合に決定されます。不合格の理由はお知らせいたしません。再出願を検討される前に選考基準を再度ご確認くださいをお勧めします。再出願を希望される場合は、次学年度以降にお願いたします。
- **ウェイティング/英語サポート条件付きウェイティング** – 選考の結果合格となりましたが、現在該当クラスに空席がない

ため空席が出るまでお待ちください。願書の提出時期に関係なく、ウェイティングの有効期限は願書を提出された学年年度の終了時までとなります。空席状況は、性別、国籍、言語の必要性といった基準により判断されます。ウェイティング期間中に席が空いた際、学校からお知らせします。お席の確保が入学試験から6ヵ月以上経過した場合、最終的な判断を行う前に、出願者の現在のレベルを確認するため英語及び/または数学力の再評価を行うことがあります。この場合追加受験料は発生しません。ウェイティングの有効期限までに席が空かなかった場合、ウェイティングは無効となります。また、空席待ちの間にお子さんの学力が入学に必要な基準を大きく下回ってしまった場合も入学許可は取り消しとなります。空席待ちの間は他の学校への入学も選択肢として検討されることをお勧めします。

学校は席が空くかどうか、いつ空くかについて保証はできないことをあらかじめご了承ください。空席が出次第学校からお知らせいたします。その際、なんらかの理由ですぐ入学できない場合は、そのままウェイティングリストに残るか、または、Waiting をキャンセルされるかをお知らせください。

- **再選考** – やむを得ない理由で、出願者を面接/入学試験日に評価判断できなかった場合、新たに日時を決め再度入学試験を行います。特に低学年のお子さんで、泣き止むことができなかつた/保護者から離れることができなかつたという理由等で試験に参加できなかった場合、お子さんが落ち着かれ、試験が受けられるような状態になるまで最低3か月は再選考を行いません。再選考が完了するまで最終結果は保留となり、クラスの席は確定されません。再選考が行われる前に空席が全て埋まってしまう可能性についてご了承ください。

4.04: 合格条件

英語または数学(G2及びそれ以上の学年)の選考結果により、クラス内サポートの範囲を超えたサポートが必要とされるお子さんにつきましては、平日の始業前、または放課後のサポートプログラム(有料)への参加、および/または、夏休み期間中のサマープログラム(有料)への参加を条件としての合格となります。サポートのレベルにより、参加を必須とするもの、参加が望ましいとされるものなど条件は異なります。必須となったサポートプログラムにご参加いただけなかった場合、入学が取り消しとなる可能性があります。

4.05: 合格受理

入学許可を受けたご家族はお子さんの席を確保するために早急にお手続き下さい。入学許可書には入学金他請求書が同封されています。入学許可書の有効期限は入学金支払い期日までです。期日までにお支払いがない場合は入学の意思がないものと判断され、入学許可は自動的にキャンセルとなります。また、ウェイティングされているご家族への公正を維持するために、いかなる理由でも払込期日の延長は致しません。一旦辞退された入学は、次のような条件が当てはまる時を除き、再度入学許可を出すことはありません。

- 該当クラスに入学できる空席がある場合
- 入学許可書に記載された入学日の前までに必ずアドミッションオフィスに連絡した場合
- 学費支払い期限日までに必ず入学許可の不受理理由を知らせた場合

上記の条件がすべて整わない限り、再度入学許可を出すことはできません。再度入学許可が認められた場合は事務手数料2,000円が発生します。

納入された入学金は、仮入学(セクション5参照)のお子さんが最終的に面接、入学試験で不合格になった場合を除き、理由の如何を問わずお返し致しません。保護者の方は入学金を支払い、入学をお決めになる前にご家族の状況を慎重に考慮し、スクールについて必要なことはすべてご確認下さい。

入金の確認後入学手続き書類一式をお送りします(8月入学の場合は6月下旬頃お送りします)。すべてのご家族は、登校初日までに緊急連絡先情報を含む全ての書類を提出していただきます。

4.06: 入学時期の延期

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrollment Deferral** をダウンロードして、必要事項を記入の上、提出して下さい。入学時期延期願いは Offer of Enrollment に記載された初登校日までに申請して

下さい。この日までに提出されなかった場合は入学は自動的に取り消されます。

延期方法には次の 2 種類があります。

- **Secured deferral** (席を確保した上での入学時期延期) – お子さんが入学を延期する期間分の授業料と年間一般費をお支払い頂きます(オプションサービスであるバス代、ランチ代を除きます)。
- **Unsecured deferral** (席を確保しない上での入学時期延期) – 授業料等のお支払いは不要ですが、お席は確保されません。延期期間中、他の合格者が出た場合、その時点でお子さんの席は新たな合格者に移ります。入学希望の時点で空きがない場合はその当初出願した学年度末までウェイティングリストに載せることは可能です。

最大で学校の長期休暇を挟んだ期間(すなわち、8 月から 12 月、1 月から 3 月、4 月から 6 月)1 期間のみ入学時期を遅らせることが可能です。

4.07: 入学後の再審査

入学後に入学選考時と異なる事情が生徒に生じた場合、学校は再審査を行います。入学選考時に生徒の学習/発達障害が認識されず、入学後に明らかになった場合などが当てはまります。再審査の目的は生徒のニーズを認識し、学校が生徒のニーズに十分に見合った設備やスタッフを用意できるかどうかを判断するためです。そして保護者の方がその生徒のニーズに合ったサポートの出来る分野を判断するためでもあります。KIST は特別支援の専門家を採用しておりませんので、再審査において学校が生徒のニーズに適切な対応ができないと判断した場合、残念ながら退校という措置をとらせていただきます。

4.08: 言語再試験の申し込み

英語サポート付きウェイティングの通知を受けた受験者は、受験後 6 か月以上経過後英語再試験を希望することが出来ます。再試験の結果英語力の向上が見られ、言語サポートなしに授業についていけると判断された場合、普通のウェイティングリストに移行し、言語サポートなしの席に空席が出た時にも入学が可能となります。英語力の向上が見られなかった場合は引き続き英語サポート付きウェイティングリストに期限まで留まることになります。言語再試験をご希望の場合は言語再試験の申込用紙をアドミッションオフィスに請求の上お申し込み下さい。再試験費 5,000 円を試験当日現金でお支払いください。ウェイティングの有効期間が 6 か月をきった場合再試験は受けられません。再試験の際、判断の対象学年は出願時の対象学年にもとづいた学年のみとなります。

4.09: 入学試験再受験

受験は 1 学年度に 1 回のみ可能です。不合格になられた場合、願書提出は次の学年度までお待ちいただくことになります。1 月～3 月入学のため、12 月にインタビュー・テストを受けられた方、4 月～5 月、あるいは次年度入学のために 1 月～3 月にインタビュー・テストを受けられ、「不合格」あるいは「ウェイティング」の結果を受け取られた方は、次の出願(次学年度への出願)まで最低 6 か月お待ちいただく必要があります。

Section 5: 生徒サポート

5.01: 英語サポート

KIST ではすべての教師が言語教師でもあり、言語は特定の言語活動だけでなく、カリキュラムを横断した型で指導されます。また、全ての生徒が異なる学習形態と学習ニーズを持つ個人であるという認識しております。英語の習熟度に関しては、教師は生徒達がそれぞれの持つ能力を最大限に伸ばすことが出来るよう教室での活動計画を立てます。また、クラスでの差異化の他にも援助が必要と判断された生徒に対しては、英語サポート(ELS)が提供されます。提供されるサポートのレベルに限りがあるため、入学に際しては学年レベルに応じた学習、及びコミュニケーションに必要な英語力が求められます。

英語サポートの評価

生徒は、学習サポートインストラクター、または担任/教科担任による標準英語力診断を用いた評価を受けます。本評価は、読み・書き・リスニング・スピーキングに分かれています。本評価の結果は担任やインストラクターによるサポートがどの程度必要なのかを測る第一指標として用いられます。サポートを提供されている間、生徒の到達度は課題サンプル、授業参加などの観察を通して継続的に評価されます。

エレメンタリースクールでの英語サポート

エレメンタリースクールでは英語サポート(ELS)は、K1 から G5 の英語を母国語としない生徒に提供されます。まず、生徒自身の現在の英語力だけではカリキュラム内容についていくのが難しい生徒に対しては、カリキュラムに含まれる概念や学習内容の理解が得られるよう、また、生徒自身が内容の理解についての表現が行えるよう ELS サポートを行います。次のサポートは、英語学習者の言語能力の発達を促進します。生徒の言語能力、学習活動、教材により、ELS は下記のうちひとつ、また複数にまたがった型をとります。

- **授業への割り込み、授業からの引き抜き、もしくは指導の差異化**

割り込み、引き抜き型の混交型サポートは、生徒がカリキュラム内容に触れながら、英語力を発達させることを促進します。引き抜き型のサポートは、学習サポートインストラクターによる個別の授業を行うため、一人、もしくは同様のニーズを持った小数の生徒達が通常の授業から引き抜かれた型で行われます。これと対照的に割り込み型のサポートは、学習サポートインストラクターが担任と共に通常授業に参加する形で行われます。どちらのケースにおいても、全ての生徒がその単元の目標を達成し、授業の差異化を行うに当たり、生徒の言語ニーズや学習方法、その他の個人的な背景やニーズが満たされるよう、担任と学習サポートインストラクターが共に授業計画を立てます。生徒が特に十分な英語力を持った仲間たちとの交流において意義ある形で最大限の言語使用の機会を持つことが出来るよう、割り込み型サポートが最も頻繁に採用されます。そのため学習サポートインストラクターは、通常の授業中に差異化された指導において適切な助言を行ったり、生徒に合った教材を使用したりします。しかしながら、ある特定の内容の復習や、技術の習得を目指すには引き抜き型がもっともふさわしいとされる場合もあります。この場合、数回の引き抜き型の授業が行われますが、このような形態の授業は通常教室での次の授業内容に戻るために必要な知識を固めるために行われる単発的なものであることが多いです。

- **言語に特化したカリキュラム並行型のサポート**

カリキュラム並行型の活動プログラムとして、エレメンタリーでは Learning Enhancement Academic Program (LEAP) が、K3 から G5 の生徒を対象に授業開始前に行われます。これらの 30 分の授業前授業は様々な英語スキルに焦点を当てており、生徒はサポートの度合いにより週 2 回から 5 回受講します。少人数のグループでのサポートにつき人数制限があるため、ニーズを持った生徒に優先権が与えられます。

- **個人の未到達スキルに特化したサポート**

G2 以上の生徒を対象に、標準化テストの分析結果をもとに英語スキルの特定の分野の向上に焦点をあて、その生徒を次の標準化テストで期待値に到達させることを目的とした、ワンツーマンでの放課後 40 分(週 4 回、全 50 回コース)の強化プログラムとして、Intensive Support Program (ISP)を提供しています。該当生徒の参加は必須となります。

セカンダリースクールでの英語サポート

セカンダリースクールでは英語を母国語としない生徒、または現状の英語力では自力でカリキュラム内容に十分ついていくのが難しい生徒を対象に英語のサポート(ELS)を提供しています。生徒の英語力により、ELS は下記のうちひとつ、または複数のサポートとなります。

- **教室内での英語サポート(G6～G8)**
ELSが必要と判断された生徒は、教室内での英語サポートとして、英語授業(English Language and Literature)や、その他の授業、主にI&S(人文社会)や科学の授業中にサポートが提供されます。
- **授業外の英語サポート(G6～G10)**
ELSが必要と判断された生徒は、ELS講師による授業外のサポートが提供される場合があります。これは、講師が生徒と一緒に1つまたは複数の科目の特定の課題に取り組む機会となります。これは通常、定期的に授業外で行われます。講師と教科担任が合意した場合、生徒は各教科の授業時間外に、講師と1対1で授業内容の確認や復習を行います。
- **アカデミックライティング(論文作成)クラス**
セカンダリースクール G6–G8 の時折ELSサポートが必要であると判断された生徒は、一週間を通してアカデミックライティングクラスを受講します。アカデミックライティングは、主に生徒のライティング能力の向上を目指したクラスです。これらのクラスは様々なジャンルのライティングの理解向上に役立ち、生徒が求められる正しい文体で文章作成ができるようサポートします。アカデミックライティングは始業前と放課後に開講され、英語の教科主任の監修のもと、ELSインストラクターによって指導が行われています。

5.02: スペシャルニーズのサポート

KISTでは学習支援スペシャリストを採用しておりませんので、学習、行動、精神的なスペシャルニーズを必要とするお子さんをお受けすることができません。入学後にサポートが必要と判断された場合、お子さんのニーズにあった他の学校を探していただくことになります。

5.03: 慣らし期間(K1の生徒のみ)

学校に初めて通い始めるお子さんはさまざまな思いを経験します。自信を持ってわくわくしている子もいる一方で、心配でたまらない子もいるかもしれません。お子さんが不安に感じるのは、保護者から離れることからきていて、特に初めての集団生活であればなおさらです。また、第一言語が英語でないお子さんが、英語環境の学校に通い始めるとなれば、お子さんにとってさらに負担が増します。

学校生活に出来るだけスムーズになじむことができるように KIST では入学時期に関係なく、K1 の新入生は慣らし期間を設け、時間をかけて徐々に学校生活になじめるようにしています。入学の時期によっては、慣らし期間の型が少し異なる場合があります。

新学年度の初めから KIST に入学する生徒には、10 日間の慣らし期間があります。最初の週は子供たちを 2 つのグループに分け、午前と午後に 1 グループずつ、短い授業を 2 つ行います。次の週には全ての生徒が長めの午前中の授業を受けます。3 週目からは普通の授業となります。

KIST に学期の途中から入学した場合、登校初日から 5 日間の慣らし期間となります。この期間中生徒は午前の授業だけ参加し、ランチタイムの前に帰宅します。生徒の様子によっては慣らし期間が延長される場合もあります。

慣らし期間の詳細については、入学決定後お知らせいたします。

5.04: 放課後のエンリッチメントプログラム

各種習い事: プロの指導による、放課後の習い事を学校内の施設を提供して行っています。習い事を場所を移動することなく、安全かつ、効率的に受講できます。これまで提供している習い事は、バレエ、ヒップホップ/K ポップダンス、ゴルフ、チアリーディング、3D プリンティング、プログラミングなどです。校庭整備が終わると、サッカー等も開講予定です。学費とは別の有料プログラムとなります。

ホームワークサポート: 放課後学校で宿題を終えて帰れるようにサポートします。ご自宅に帰ってからは、家族での団らんや読書等の時間を作れるよう、宿題を学校で終わらせて帰宅できるようサポートします。

Section 6: 保護者

6.01: 保護者のサポート

良い学校とは学習面で優れているだけでなく、暖かく生徒を見守る学校環境、地域社会、そしてなによりご家庭との強い絆があってこそ成り立つものです。この絆は保護者をご家庭でお子さんの学習をサポートしていただくとともに、学校の教育プログラムをお手伝いいただくことによってさらに強まります。KIST ではお子さんの教育や学校行事に積極的に参加していただく保護者の姿が、お子さんのよきお手本になると信じています。

KIST では保護者が K1 から G12 までお子さんの教育に関わっていくことを強く期待しています。お子さんの学年が上がるにつれ、保護者がお子さんの学校生活のことを考える時間が様々な理由で減ってしまうことがよくあります。私たちは子どもが成長すると、彼らが自立できるぐらいの十分な常識と技術を身につけたと思いがちです。この考え方は間違っていないかもしれませんが、セカンダリースクールに進学し、青年期に入っても子どもたちには保護者の関わりは大事だと考えています。勉強量の多いディプロマ・プログラム (DP) を履修する G11 と G12 にとっては特に保護者のサポートがとても大切です。

いくつかの年間行事へのご家族の参加は必須となっています。これらには KISTival (学園祭)、保護者説明会、三者面談、生徒主導型面談、ファミリーデーなどを含みます。年間行事の日程はご家族に事前に予定していただけるよう、年間カレンダーにてお知らせします。

多くの保護者の方にはお仕事など、それぞれの都合があることは承知しておりますが、学校全体の全学年のご家族がお子さんのために学校をサポートしていただくことをお願いします。

6.02: 保護者の関わる学校行事など

KIST では保護者の方に様々な行事に参加していただけます。これらの行事には以下のものが含まれます。

Parent welcome nights | ようこそ/おかえりなさい保護者説明会

学年度の初めに行われるこのセッションでは、保護者にその学年度の学校/クラスに関する説明を行います。保護者はこの機会に担任に会い、新しいクラスでの決まりごとや、求められていることを知ることができます。

Parent/Teacher/Student conferences | 三者面談

セメスター1に行われるこの面談は、お子さん、保護者、教員の3者による、お子さんの勉強の成果や対応について話し合う機会を提供します。新学年への取り組み方や、年間の学習や行動の目標について話し合います。

Student led conferences | 生徒主導型面談会

お子さんの学習評価の一環として、保護者にはこの面談会に出席していただけます。セメスター2に行われるこの生徒主導型面談会を通して、お子さんは、日ごろの勉強の成果を保護者にお見せするだけでなく、自分の勉強の進み具合、自分で管理する責任を学ぶことができます。他の人に自分が学んだことを説明することで、より理解を深めることができます。

Annual parent information session | 重要事項保護者説明会 (年1回)

毎年秋に理事会より、教育目標に対する昨年度の成果報告や、今学年度の教育目標への取り組み、決算報告、次学年度の学費などについての説明会となります。

Coffee mornings & educational information sessions | 保護者のための勉強会および茶話会

当校のカリキュラムをより理解いただき、お子さんの学習を積極的にサポートしていただくために保護者を対象としたカリキュラムや評価法、宿題へのかかわり方等について、勉強会や茶話会を年間を通して開催しています。

Excursions | 遠足、課外授業

お子さんのクラスの遠足や課外授業に保護者にお手伝いしていただくことがあります。これは、お子さんたちと一緒に未知の世界を探求し、新たな発見を得るという絶好の機会となります。

Class parents | クラスペアレンツ

エレメンタリースクールでは、担任や学校から依頼があった際、クラスの取りまとめやサポートを行う役目として、各クラスで「クラスペアレンツ制度」をとっています。通常各クラス 1~2 名の保護者のボランティアをお願いしています。

KIST Community Association (CA) | 保護者会

すべての保護者はお子さんの在籍中保護者会 (CA) の会員となります。年度の初めにその年の会費が集められます。CA ではボランティア活動や金銭的サポートを通して生徒の学びをサポートし、また学校の発展、スクールコミュニティ間のコミュニケーションを促進することに寄与しています。保護者には役員会やその他の準備委員会などを通して CA で積極的に活動していただきたいと思えます。

KISTival (School festival) | キスティヴァル(学園祭)

毎年原則 10 月第 4 土曜日に KISTival (学園祭) が行われます。KISTival の収益は、設備の充実、学校の教育環境向上のために取り組む特別プロジェクト等に使われます。全ての保護者の方に前日の準備と、当日の売り場のお手伝いが義務付けられています。食べ物、商品の提供、販売する食べ物の材料、運営費などの寄付もお願いしています。

Family Day | ファミリーデー

KIST コミュニティの親睦をはかることを目的に、毎年 5 月の土曜日にファミリーデーが開催されます。当日は、お子さん、保護者、教職員皆で競技や、体を動かすアクティビティを楽しみます。教職員や他の保護者との交流の機会を提供いたします。

Board of Directors coffee morning | 理事会主催茶話会

毎年 6 月に理事会メンバーが全校の保護者を招待し、カジュアルな雰囲気の中で様々なエリアの保護者の皆さまと直接交流し、学年度を振り返り、また、来学年度以降に向けてのご意見などを共有する機会となります。

Section 7: 学費

7.01: 2025–26 授業料

KIST は日本国政府等から助成金を受けていないため、ほぼ学費の納入のみで学年度ごとの運営を行っております。学費は、人件費の定期昇給分の上昇を吸収するため毎年一定額の改定があります。急激な物価変動や教育政策の大幅な改革など、更なる改定が生じる場合は、出来るだけ早い段階で保護者の皆さまにお知らせいたします。学校法人認可を受けている KIST は、学費や学校関連の支払い（スクールランチやバスサービスなど一部サービスを除き）には消費税は適用されません。

学費

種類	返金不可	学年	金額	支払い時期
受験料	返金不可	全学年	¥30,000	出願時
入学金			¥300,000 (再入学時: ¥60,000 ¹)	入学時のみ
施設拡張費			¥700,000 (再入学時: ¥140,000 ¹)	
授業料			¥2,700,000	年額
施設維持費			¥150,000 ²	
CA(保護者会)会費(家族ごと)			¥2,000	
IB DP 試験検定料		Grade 12 のみ	¥160,000	2 回目支払時: ¥80,000 3 回目支払時: ¥80,000
GL 試験検定料		Grade 1~Grade 8	金額は変動 ³	別途請求
iPrimary 試験検定料		Grade 5 のみ		
iLowerSecondary 試験検定料		Grade 8 のみ		
IGSCE 試験検定料		Grade 9、10 のみ		
キャンプ代		Grade 5、7、9、11	金額は変動 ⁴	1 回目支払時
プログラム進学費		Grade 1、6、9、11 進学時 ⁵	¥5,000	別途請求

¹ 3 年以内に KIST に再入学する際には割引料金となります(退校の日付から 1・2・3 年以内に再入学する生徒。退校から 4 年目に再入学する生徒には適用されません)。

² 4 月以降から入学する生徒の場合は減額されます。

³ 海外のオフィシャルテストを利用しますので、料金は為替相場によって変動します。

⁴ キャンプにかかる費用は、行先などにより金額が変動します。

⁵ 進学時にお支払いいただきます。

その他、一般的な経費(書類発行料など)については入学後に各ご家庭にお知らせいたします。

7.02: 就学支援制度と奨学金制度

学費減免制度

学費値上がり分の一定額を減免する制度です。減免額はその学年度の状況に合わせて決定されます。

経済的なサポートが必要なご家庭に対しての制度のため、申請者数の上限は設けませんが、本制度を申請するにあたり、世帯収入制限や収入を証明する書類の提出が必要となります。また、本制度の適用を受けるご家庭は、School Support Program (SSP)へ参加していただくことも条件となります。SSP には、保護者の送迎車や生徒の登下校のマナー改善及び安全確保のためのパトロール等があります。保護者側の都合で SSP を消化できなかった場合、次学年度は本制度の対象外となります。

※K1 を含む新入生は対象となりません。

KIST 特待生奨学金

G7~G12 の生徒で、学校のミッション、ビジョン、指針となる信念に従って学校に多大な貢献をし、優れた学業成績と他の生徒の模範となることで、学校の精神を真に表す資質を示した生徒は、入学 2 年目から KIST 特待生奨学金に応募する資

格があります。この賞に関する情報は、毎年、全家庭に配布されます。

7.03: 支払方法

学費は、一年分を一度にまとめて(年間一括払い)か、3回に分けて(分割払い)銀行振り込みでお支払いいただきます。

1月に入学試験を受け、4月または8月に入学される方の支払期限は、セクション 3.02をご覧ください。それ以外の入学時期の場合、原則合格通知日から1週間以内にお支払いいただきます。

年間一括払い

新入学時の年間一括払いの金額は下記の表のとおりです。

K1~Grade 11		Grade 12	
入学金	¥300,000	入学金	¥300,000
施設拡張費	¥700,000	施設拡張費	¥700,000
授業料	¥2,700,000	授業料	¥2,700,000
施設維持費	¥150,000	施設維持費	¥150,000
CA 費 ¹	¥2,000	CA 費 ¹	¥2,000
支払額	¥3,852,000 ²	IBDP 試験検定料	¥160,000
		支払額	¥4,012,000

¹ CA 費は家族ごととなります。

² 上記支払額に試験検定料とキャンプ費が加わります(該当学年のみ)。

分割払

授業料のみ分割払いができます。その他の費用(入学金、施設拡張費、施設維持費とCA費)は第1回目に全額をお支払いいただきます。新入学時の分割払いは下表をご覧ください。

K1-Grade 11				Grade 12			
	第一回	第二回	第三回		第一回	第二回	第三回
支払期限	3月7日	9月15日	12月15日	支払期限	3月7日	9月15日	12月15日
入学金	¥300,000			入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥700,000			施設拡張費	¥700,000		
授業料	¥1,080,000	¥810,000	¥810,000	授業料	¥1,080,000	¥810,000	¥810,000
施設維持費	¥150,000			施設維持費	¥150,000		
CA 費 ¹	¥2,000			CA 費 ¹	¥2,000		
計	¥2,232,000	¥810,000	¥810,000	IBDP 試験検定料		¥80,000	¥80,000
支払額	¥3,852,000 ²			計	¥2,232,000	¥890,000	¥890,000
				支払額	¥4,012,000		

¹ CA 費は家族ごととなります。

² 上記支払額に試験検定料とキャンプ費が加わります(該当学年のみ)。

1月の入学試験期間以降に試験を受けた方の第一回の支払期限は合格通知日より1週間以内となります。第二回、第三回の支払期限は上記の通りです。

入学2年目以降の分割払い期限は下表の通りです。授業料は3分割された金額を、その他の費用は第一回支払期限5月15日までにお支払いいただきます。お支払いの詳細(請求書)は3月に各ご家庭に通知します。もし各15日が土日祝日の場合は、翌日銀行営業日が支払期限となります。

学費	支払期限
第一回	5月15日
第二回	9月15日
第三回	12月15日

7.04: その他の費用

スクールバスやスクールランチの費用、教科書代(必要に応じて)、試験代などの請求書は別に送られます。

制服

KIST では全校生徒に制服があります。制服には夏服と冬服、体操服があります。

スクールバスサービス

年間 110,000 円～440,000 円

KIST ではエレメンタリー生徒の登下校用にスクールバスを提供しています。バスルートや停留所は毎年見直され、変更される場合があります。現行のバス停の近くへの引越しを検討されている方はご注意ください。バス停の決定権は原則的に学校にあり、個人の要望に応じて調整を行うことは出来ません。セカンダリー生は授業時間の関係でスクールバスサービスを利用することはできません。

スクールバスの座席数は限られているため、バスサービスに申し込まれた全てのお子さんにご利用頂けるとは限りません。空席がない場合おさんはウェイティングリストに入り、空席が出次第申し込み順で利用のご案内をさせていただきます。

バスは、往復または片道でご利用いただくことができ、3 期に分けての請求となります。()内は 10%の消費税込みの金額です。

Blue Bus バス停	往復	片道
(中央区): 勝どき、月島	20,000 円(22,000 円)/月	10,000 円(11,000 円)/月
(江東区): 東雲、豊洲	20,000 円(22,000 円)/月	10,000 円(11,000 円)/月
Orange Bus バス停		
(港区): 西麻布、六本木 1 丁目	30,000 円(33,000 円)/月	15,000 円(16,500 円)/月
(渋谷区): 渋谷	40,000 円(44,000 円)/月	20,000 円(22,000 円)/月
Pink Bus バス停		
(港区): 麻布十番、大門(午後のみ)、芝公園(朝のみ)、天現寺	30,000 円(33,000 円)/月	15,000 円(16,500 円)/月
(品川区): 五反田、目黒	40,000 円(44,000 円)/月	20,000 円(22,000 円)/月

スクールランチサービス

スクールカフェ(NK カフェ)は、生徒のランチサービスを行っている学校とは別に経営されている私企業です。スクールランチのオーダーはオプションです。ランチはオーガニック、又はオーガニックに近い素材を使用した、栄養バランスのとれたものを提供しています。アレルギーやダイエット食等の特別食には対応していません。月～金の毎日か、週の決まった曜日にオーダーするか選ぶこともできます。()内は 10%の消費税込みの 1 食の金額です。

幼稚園サイズ 520 円(572 円) | エレメンタリーサイズ 620 円(682 円) | セカンダリーサイズ 640 円(704 円)

教科書

セカンダリースクールでは教科書や教材書籍が必要となり、各ご家庭でご購入していただきます。お子さんが選択した科目や年度によって、教科書と教科書の値段は変わります。エレメンタリーでは K1 から G5 で英語/算数のワークブックが必要となり、各ご家庭でご購入していただきます。

試験検定料

学年度内に公式試験を実施いたします。実施するテストは下記の表の通りです。海外の公式テストを利用する関係上、試験検定料は為替相場によって変動します。

テスト	対象学年
GL assessments	G1 から G8
iPrimary test	G5
iLowerSecondary test	G8
IGCSE tests	G9 及び G10

ビフォーケア・アフターケア(K1 から G3 のみ)

保護者の方のお仕事その他の都合で、通常のスクール終了時間より長く、または登校時間より早く学校に来る必要のあるお子さんを対象にビフォーケア、アフターケアを提供しています。お預かりできる人数に限りがありますので、別途学校の定める優先基準に従ってお受けいたします。

		月	火	水	木	金
ビフォーケア		8:00–8:30	8:00–8:30	8:00–8:30	8:00–8:30	8:00–8:30
アフターケア	セッション 1	3:00–4:00	3:00–4:00	3:00–4:00	3:00–4:00	3:00–4:00
	セッション 2	4:00–5:00	4:00–5:00	4:00–5:00	4:00–5:00	4:00–5:00
	セッション 3	5:00–6:00	5:00–6:00	5:00–6:00	5:00–6:00	5:00–6:00

ビフォーケア

回数/週	料金(年額)
5	¥210,000
4	¥168,000
3	¥126,000
2	¥84,000
1	¥42,000

アフターケア

回数/週	料金(年額)		
	セッション 1 3:00–4:00	セッション 2 4:00–5:00	セッション 3 5:00–6:00
5	¥200,000	¥200,000	¥200,000
4	¥160,000	¥160,000	¥160,000
3	¥120,000	¥120,000	¥120,000
2	¥80,000	¥80,000	¥80,000
1	¥40,000	¥40,000	¥40,000

超過料金

K1～K3、および保護者の方のお迎えが必要と登録されているお子さんのお迎え時間が 10 分以上遅れた場合、超過料金として 2,500 円をいただきます。超過料金はスクールバスをご利用のお子さんも対象となります。

生徒持ち込みノートパソコン

G9～G12 の生徒は Windows 対応のノートパソコンを各自で用意します。学校で使用するノートパソコンには Windows OS (10 または 11) がインストールされていなければなりません。生徒には KIST での在籍中に使用できる Microsoft 365 の無料ライセンスが提供されます。また、低学年のお子さんが宿題や勉強のために自宅で使用するコンピュータの購入を検討されているご家庭は、学校全体で使用されている特定のソフトウェアとの互換性を確保するため、Windows オペレーティングシステムを搭載したデバイスを購入することを強くお勧めします。

Pamoja オンラインコース(DP のみ)

G11～G12 の DP において、IB によりオンラインで提供されている教科を履修する場合、原則その費用は各自でご負担いただきます。

7.05: 授業料に含まれているその他のサービス

教室内言語サポート(K1～G10)

教室内での言語サポートは、適切な英語能力を習得するために追加でのサポートを必要とする生徒に提供されます。

スタディーホール(G9～G12)

学校の定めた基準により、監督者の元で、週 3 回、もしくは週 4 回アフタースクールで自習します。

サプリメントクラス(G12)

サポートが必要な科目に対し、補習クラスを提供します。

課外活動(クラブ活動)

G1 以上の生徒には放課後様々なクラブ活動を、一年を 2 期に分けて提供しています。クラブ活動には追加費用はかかりません。

ただし、セカンダリー生で対抗試合・リーグ戦を伴う運動部に参加する場合、リーグ参加費用(審判費用、コーチへの謝礼、トーナメント参加費、メンバーシップ費用等)を賄うための参加費は別途必要となります。

7.06: 支払い遅滞の事務手数料

お支払い期限を過ぎた支払いに関しては、3,000 円の事務手数料を請求させていただきます。お支払が遅れることが予想される場合、事前に経理部(accounts@kist.ed.jp)までメールにてご連絡いただければ事務手数料は発生いたしません。

7.07: 授業料の割引

再入学者特別金額

入学金および施設拡張費は当校への入学時のみのお支払いとなりますが、一度退校して再度入学した場合は、もう一度お支払いいただく必要があります。ただし、退校後 3 年以内に再入学される場合には減額措置があります。

年度途中の入学

年度途中からの入学の場合、入学時期によって授業料は所定の計算方法により減額されます(月途中からの入学でも月初からのとして計算)。また 4 月から 6 月間での中途入学の場合、施設維持費は減額になります。

7.08: 返金規定

受験料と入学金は返金されません。

入学時にお支払いいただく学費やその他諸経費(施設拡張費、施設維持費、CA 会費)は、日本時間における初登校日前日までにメールにて入学辞退の連絡があった場合のみ全額払い戻し可能です。

諸経費の返金については入学後の各ご家庭にお知らせいたします。